

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2023年 1月 4日

事業所名：児童デイサービス キッズ☆スター

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無記入	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	2020年4月より1・2階共に利用できるようになり、体操スペースだけでなく余暇・保育スペース、コミュニティルームも広がった。	96.3%	2.5%	0%	0%	1.2%		基準の7倍以上の面積を確保しています。体操するスペースとしては狭いかもかもしれませんが、現状が精一杯のためご理解のほどよろしくをお願いします。	
	2 職員の適切な配置	児童発達管理責任者や保育士等、人員配置基準に定められた以上の人員を配置している。	90.0%	6.2%	0%	3.8%	0%	・専門性があるのかどうか分からない。 ・担当して下さるスタッフによって、少し専門性の差はあると感じます。 ・致し方ありませんが、先生方の入れ替わりが少し多い印象を受けます。	月に一度スタッフの資質向上を目的とした研修を実施しています。議事録を作成し、研修に参加できなかったスタッフにも研修内容を周知できるようにしています。日々のミーティングの前後にワンポイントレッスンを行う等、更にスタッフの資質向上ができるよう工夫しながら実施していきたいと思います。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	2020年4月に2階から1階へ事務所配置換えを実施し、パーティションや本棚で各スペースを仕切ることににより、視覚的にも区別しやすくなった。	93.7%	2.5%	0%	3.8%	0%	階段が急。	階段に関しては賃貸と言うこともあり、変える事が出来ませんが、対策として保護者もしくは指導員が子ども達より先に降りるようにしています。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	1日の業務リストを作成し、整理整頓、掃除、消毒等を定期的に行えるようにしている。	100%	0%	0%	0%	0%		継続していきます。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	日々、就業前後にミーティングを実施し、月に一度の全体ミーティングと法人の未来について話し合う会議を実施している。	/							継続していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	月に一度、理事会や会計士との経営戦略会議等を実施している。	/							継続していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	日々、就業前後にミーティングを実施し、月に一度の全体ミーティングを実施している。	/							継続していきます。
適切な支援	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年に一度、支援計画の見直しのため、保護者への聞き取り・面談をさせて頂き、スタッフ2名以上で支援計画作成の会議を実施している。	100.0%	0%	0%	0%	0%	・保護者の意見を取り入れていると思う。 ・児童本人や家族全体の事情もご理解頂いており、大変新味にご計画を策定頂いています。感謝申し上げます。	継続していきます。	

の提供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別以外にも月に1回程度グループでの活動を実施している。個々に合わせて個別、集団でのサービス計画を作成している。							継続しています。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	大きく分けて6項目の計画を立てている。その中で個々に必要な内容を記載している。	100.0%	0.0%	0%	0.0%	0%		継続しています。
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	基本は支援計画に沿って支援を行っているが、個別対応の為、その日のその子の状況に合わせてしています。重要事項説明書にも記載してあります。	97.5%	2.5%	0%	0.0%	0.0%	モニタリングの時にどうだったかなと思うことがある。	基本的には支援計画に基づいた支援を行っています。本人のその時の様子を見ながら支援を行っているため計画に添った支援だと感じられにくい場面もあるかとは思いますが。そういった時は、実施している内容の目的、意図の説明を行うようスタッフ一同心掛けます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	活動プログラムの内容は基本的に子ども自身が決めていくが、指導員はそのプログラムをスモールステップさせ意図を持たせて行っている。							継続しています。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・常時個別対応のため、休日と平日の違いはない。 ・平日と休日、長期休暇に応じてサービス提供時間を変えて実施している。							継続しています。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	計画に沿ってその日のその子の状態に合わせて実施している。	95.0%	1.3%	0%	2.5%	1.2%	・子どもの希望に応じて下さる課題の提案があります。 ・スター、リレーション共に、毎度バラエティに富んだプログラムだと思います。	子ども本人の意思を第一に考え、保護者のご希望を受け取り、当事業所の方針とをすり合わせながら支援することをスタッフ間で周知し、支援するようスタッフ一同心掛けます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	サービス提供前にミーティングを行い、前回の様子や今日の課題を共通理解できるようにしている。							継続しています。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	サービス提供後のミーティングで1人1人の指導の振り返りや支援方法の共有化を図っている。							継続しています。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	指導記録者を1名おいて作成している。担当指導者が必ずコメントを添え、今後の課題や改善策などを記入している。							継続しています。

	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一度、アセスメントを行い支援計画の見直しをしている。							継続していきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	担当者会議が開催される場合、必ず参加している。							継続していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施								
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備								
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	契約時に保護者の方へサポートノートの成長と提出をお願いしている。そのノートを通じ学校や就労先へ提出して頂くことで特性に対するの理解をしてもらいやすい事をお伝えしている。一年度に提出をお願いしています。							継続していきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	契約時に保護者の方へサポートノートの成長と提出をお願いしている。そのノートを通じ学校や就労先へ提出して頂くことで特性に対するの理解をしてもらいやすい事をお伝えしている。一年度に提出をお願いしています。							継続していきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	ZOOM等オンラインシステムを活用して児童通所サービス等事業所連絡会へ定期的に参加し、外部研修にも参加している。							継続していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナ感染対策を十分に行ったうえで、毎年恒例の夏祭りを実施し地域住民の方々と交流を図った。	40.0%	17.5%	8.7%	32.5%	1.3%	・特に必要だと感じていない。 ・デイサービス主催のお祭りなどで、年1回は交流がある。 ・自然処外との交流機会はないかと思いますが、自然処内のイベントは毎度楽しく参加させていただいています。	毎年開催している夏祭りが、地域交流を目的とした活動であることを知ってもらえるよう広告等で周知し、これからも夏祭りを継続して実施してまいります。
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ感染対策を十分に行ったうえで、毎年恒例の夏祭りを実施し地域住民の方々と交流を図った。							継続していきます。	

保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	その日の支援内容については、その都度保護者に伝えている。利用負担等については利用者全ての方に請求書兼明細書を渡している。	98.7%	1.3%	0%	0%	0%		普段の体操中、後に内容や意図を説明することを心掛けておりますが、より一層意識するよう周知していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画の承認を頂く際には、必ず読み上げをして説明することを徹底している。	100.0%	0.0%	0%	0%	0%		継続していきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者会の中で保護者からの質問や相談を受け付けている。体操中に保護者からの相談等があれば、個別で対応している。	72.5%	10.0%	1.3%	16.2%	0%	・実施されているのか分からない。 ・参加していないので分からない。	コロナの影響もあり、できるだけ密になる機会を控えていましたが、2022年度より保護者会の実施を再開しました。SNS等を活用してより周知できるようにします。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	体操の前後、又は体操中にもできるだけ保護者の方とお話をさせて頂くように心がけている。又、保護者からの申し出があればその都度面談を行っている。	93.7%	5.0%	0%	1.3%	0%	・体操の後に話してきていると思う。 ・スター、リレーションとも、毎度フィードバックを頂いています。大変助かっております。	勤続期間が短い等により保護者との関係性の構築が不十分なスタッフに関しては、ベテランのスタッフがサポートしながら保護者とのコミュニケーションを取っていただけるようにします。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	半年に一度定期的に面談をさせて頂いていますが、保護者からの申し出によりその都度面談を行っている。又、体操時に相談等があれば話を聞き、フィードバックしている。	91.2%	6.2%	0%	2.6%	0%	スター、リレーションとも、毎度フィードバックを頂いています。大変助かっております	定期的には年に2回させていただいていますが、必要があれば個人面談の希望をお伝えください。体操中前後で可能であればいつでもお声かけ頂けるように、お伝えしていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	消毒や換気等感染症対策を実施しながら約2か月に1回、お母さんやお父さんが交流できる会を実施した。	87.5%	3.7%	0%	8.7%	0%	父親交流会などを含め毎度機会を作って頂いており、大変ありがたいです。	お母さんやお父さんの交流会の開催をより多くの方に知ってもらえるように、定期的にSNSで発信したり、所内ポスターを貼る場所を変えたりというように広告方法を工夫していきます。

	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	保護者からの質問は各スタッフがその場でお答えできるように研修し、スキル向上を行っている。スタッフ間でも話し合いフィードバックをするようにしている。	70.0%	8.7%	0%	21.3%	0%		継続していきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵カード等を作成し、視覚での支援を実施している。	95.0%	2.5%	0%	2.5%	0%	普段からLINE等でカジュアルに連絡を取り合える風土が出来ていると思います。	継続していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	HPへの掲載、登録者一斉配信システムを活用して情報発信をしている。	98.7%	1.3%	0%	0%	0%	WebサイトだけでなくLINEでも発信頂いており、十分かと思えます。	継続していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報書類、USB等は鍵付きの書庫で保管している。	88.8%	2.5%	0%	8.7%	0%		継続していきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	ホームページに掲載し、事業所内にも掲示している。	87.5%	3.7%	1.3%	7.5%	0%		避難訓練時に関連するマニュアルを保護者に確認してもらい、HPやSNSを活用して再度周知します。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	1年に1度実施している。	97.5%	0.0%	0%	2.5%	0%		継続していきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機確保等の適切な対応	1年に1度所内から必ず外部研修に行き、社内研修を実施している。							継続していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	基本的には身体拘束はない。契約時に説明しているため、必要であればその場で保護者と相談する。							継続していきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	普段の活動では、おやつや食事の提供はないが、イベント等で提供がある場合があるため、1年に1度の緊急時連絡先書類の見直し時にアレルギー等の記入の見直しを保護者をお願いしている。							継続していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットは多く、事故は少なくを目標にヒヤリハットの報告書作成を徹底している。							継続していきます。

満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	子ども達皆に「楽しい」と思ってもらえるよう、子どもファーストで実施している。	87.5%	12.5%	0%	0%	0%	有り難いことにお友達も出来、毎度楽しみに通わせて頂いています。	体操前後、または体操中に子ども達だけではなく保護者ともコミュニケーションをとり、子ども達の様子や感想を引き出せるようスタッフ間で周知していきます。
	2	事業所の支援に満足しているか	子ども並びに保護者との信頼関係を大切にしています。	96.3%	3.7%	0%	0%	0%		保護者のご希望がある場合は、まずはご希望を受け取り、当事業所の方針とをすり合わせながら、子どもにとってより良い支援内容を協議決定し、その内容をスタッフ間で共有しながら対応していきたいと思います。